Press Release

2026 年 8 月 19 日

報道関係者各位

株式会社 VLC セキュリティ

CYBERGYM e ラーニングサービスを刷新
一般従業員向け・セキュリティ担当者向けの新コンテンツを提供開始

～基礎知識から実践的な判断・対応まで、役割に応じたセキュリティ教育を支援～

VLC セキュリティグループの株式会社 VLC セキュリティアリーナ（本社：東京都港区、代表取締役社長兼 CEO：石原紀彦、以下「当社」）は、サイバーセキュリティ教育の一環として提供する「CYBERGYM e ラーニング」のサービスラインアップを刷新し、新たに「一般従業員向け」および「セキュリティ担当者向け ～インシデント対応編～」の提供を開始いたします。

サイバー攻撃が高度化・巧妙化する中、組織のセキュリティ対策には、従業員一人ひとりが攻撃の手口を理解し、日常業務の中で適切に判断・行動する力に加え、インシデント発生時にセキュリティ担当者が迅速かつ適切に対応するための専門知識が求められます。

今回の刷新では、従来から提供する初心者・新入社員向けの e ラーニングに加え、一般従業員向け、セキュリティ担当者向けのコンテンツを新設しました。基礎的なセキュリティリテラシーから、最新のサイバー攻撃に対する判断・行動、インシデント対応の実務知識まで、受講者の役割に応じて学べるラインアップを提供します。また、セキュリティ担当者向けの専門コンテンツについては、今回提供を開始する「インシデント対応編」を皮切りに、実務で求められる知識・スキルを習得できるコンテンツを順次拡充してまいります。

【背景】

企業・組織を狙うサイバー攻撃は高度化・巧妙化しており、ランサムウェアや標的型攻撃メール、フィッシング詐欺、ソーシャルエンジニアリングなど、その手口も多様化しています。こうした攻撃による被害を防ぐためには、システムやツールによる技術的な対策だけでなく、従業員がサイバー攻撃を自分自身にも起こり得るリスクとして理解し、不審なメールや Web サイトなどに遭遇した際に適切に判断・行動することが重要です。

一方、実際にインシデントが発生した場合には、セキュリティ担当者が状況を把握し、被害拡大防止や証拠保全、原因調査、復旧、再発防止などを適切に進める必要があります。このため、一般従業員とセキュリティ担当者では、それぞれの役割に応じた知識や対応力が求められます。

このような背景から当社は、CYBERGYM e ラーニングのラインアップを見直し、受講者の役割や実務に応じて必要な知識・スキルを学べるサービス体系へ刷新しました。

サービス名（略称）	概要
初心者・新入社員向け	身近な事例を通じて、日常業務に必要な情報セキュリティの基礎知識を身につける
一般従業員向け	最新のサイバー攻撃事例や手口を学び、被害を防ぐための適切な判断・行動を身につける
セキュリティ担当者向け ～インシデント対応編～	インシデント対応の一連の流れと各フェーズの実務を学び、 発生時に必要な対応力を身につける

【刷新後の CYBERGYM e ラーニング詳細】

CYBERGYM e ラーニングでは、受講者の役割や学習目的に応じた 3 つのコンテンツを提供します。

●初心者・新入社員向け サイバーセキュリティ e ラーニング（既存）

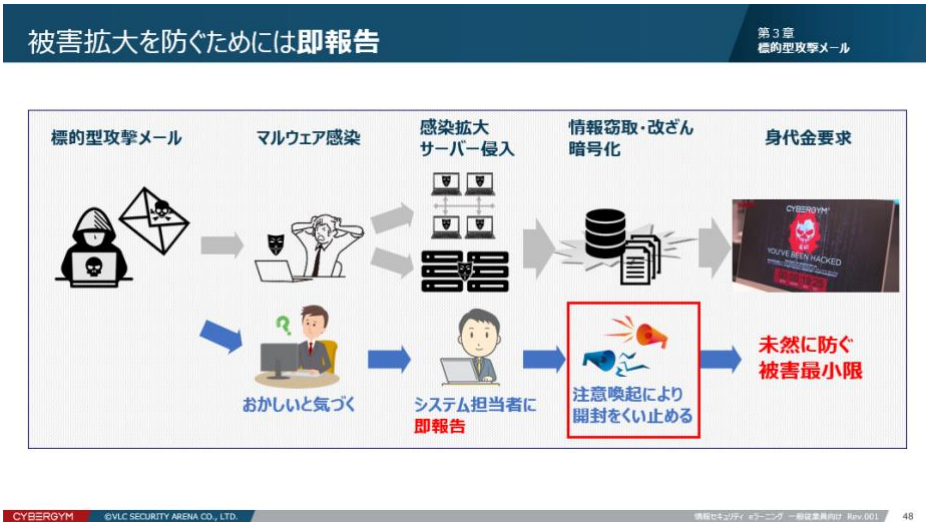
サイバーセキュリティを初めて学ぶ方や新入社員などを対象に、日常業務で必要となるセキュリティの基礎知識を学習するアニメ形式の e ラーニングです。身近なシチュエーションを題材としたアニメーションを通じて、サイバー攻撃や情報セキュリティに関する基本的な知識を身につけ、従業員のセキュリティリテラシー向上を支援します。

●CYBERGYM e ラーニング 一般従業員向け【NEW】

一般従業員を対象に、実際のサイバー攻撃事例や最新の攻撃手法を通じて、日常業務で必要となる情報セキュリティの知識と対策を学習します。

ランサムウェア、サイバー攻撃の現状、標的型攻撃メール、フィッシング詐欺、ソーシャルエンジニアリング、サポート詐欺、アップデートの必要性、情報セキュリティインシデントの 8 つのテーマを取り上げ、攻撃の仕組みや被害事例、具体的な対策について解説します。

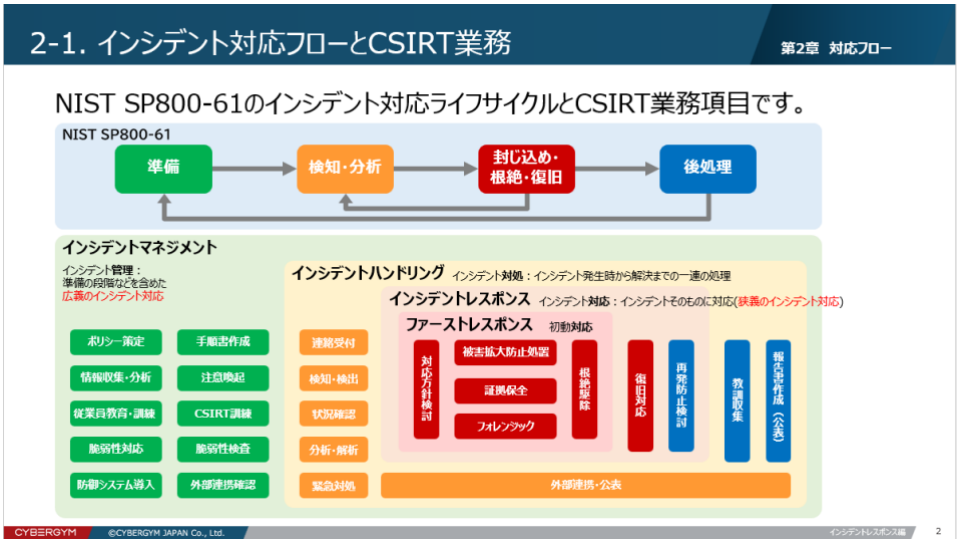
サイバー攻撃を「知る」だけでなく、実際に不審なメールや Web サイトなどに遭遇した際に、被害を防ぐためにどのように判断・行動すべきかを学ぶことで、従業員一人ひとりのセキュリティ意識と対応力の向上を支援します。



●CYBERGYM e ラーニング セキュリティ担当者向け ～インシデント対応編～【NEW】

企業・組織のセキュリティ担当者を対象に、サイバーインシデント発生時に求められる対応の考え方と実務知識を体系的に学習します。

インシデントの定義や対応の目的、CSIRT の役割などの基礎知識から、準備、検知・分析、封じ込め、根絶・復旧、後処理まで、インシデント対応の一連の流れを解説します。さらに、被害拡大防止、証拠保全、フォレンジック、根絶・駆除、復旧、再発防止など、各フェーズでセキュリティ担当者に求められる具体的な対応を学ぶことで、インシデント発生時の適切な初動判断と対応につなげます。



【今後の展開】

サイバー攻撃の手法や企業・組織に求められるセキュリティ対策は、継続的に変化しています。当社では、こうした変化に対応しながら、CYBERGYM e ラーニングのコンテンツを継続的にアップデートしてまいります。

特にセキュリティ担当者向けについては、今回提供を開始する「インシデント対応編」に加え、実務で求められる専門知識・スキルをテーマとしたコンテンツを順次拡充する予定です。

当社グループでは、CYBERGYM e ラーニングを通じて、従業員一人ひとりのセキュリティリテラシーと判断・対応力の向上、ならびにセキュリティ担当者の実務対応力の強化を支援し、組織全体のセキュリティレベル向上に貢献してまいります。

【VLC セキュリティグループについて】

VLC セキュリティグループは、「Go Beyond! Japan Cyber Security」のミッションのもと、世界最先端の知見と技術を取り入れた 3 つの事業を柱に、日本のサイバーセキュリティの革新を牽引し、社会と産業の発展を支えます。

【VLC セキュリティグループ事業会社】

株式会社 VLC セキュリティコンサルティング

業界スタンダードに基づくセキュリティ体制構築、ISMS や P マークを始めとした認証支援を行うコンサルティング事業

株式会社 VLC セキュリティアリーナ

サイバージム(CYBERGYM)ブランドで提供する、最新の攻撃手法をリアルタイムに反映した実践的で最先端のサイバーセキュリティトレーニング事業

株式会社 VLC セキュリティラボ

AI をはじめとする最先端技術の活用と高度な知識を持ったホワイトハッカーによるセキュリティサービス事業

株式会社 VLC セキュリティ

事業内容：グループ各社を通じたトータルセキュリティソリューションの提供

本　　社：東京都港区虎ノ門 4-1-40　江戸見坂森ビル

代 表 者：代表取締役社長兼 CEO　石原 紀彦

WEB サイト: https://vlcsecurity.com/